



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

長岡市に8項目の緊急要望―物価高騰で苦しむ市民生活に支援を！

「物価高騰対応重点支援交付金」等の活用で

生活支援に効果的な対策を



4/21 渡邊副市長に要望書を渡す斎藤地区委員長

4月21日、日本共産党長岡市議団は「物価高騰対策等に関する緊急要望書」を長岡市に提出し、渡邊則道副市長に直接要望しました。遠藤れい子前県議、斎藤実地区委員長も同席して発言しました。

【緊急要望事項】

一、国に対し物価高騰対策で一番効果的な消費税の5%減税実施を強く求めること。

二、市民生活緊急支援を実施すること。①お米券の配布。②電気・ガス・ガソリン代の補助。③国民健康

保険料の1万円の減額。

三、介護・障がい者・高齢者施設・医療機関等に対してガソリン代や光熱水費等の財政支援をすること。

四、農家への資材費やガソリン代等の財政支援を。

五、賃上げのための中小企業支援を行うこと。

六、市の委託事業等に物価高騰や賃金引き上げのための増額をはかること。

七、小中学校給食費の無償化を実施すること。

八、市内の全小中学校と自治体庁舎のトイレに生理由品の配置を行うこと。

遠藤れい子は、市内基幹病院は大変だったが市の支援に感謝している。引き続き市民の医療確保に支援を要望する。

はつとり耕一市議は、物価高に苦しんでいる市民に温かい支援を

長坂まさし市議は、共産党は10年以上も前から消費税減税を主張している。市から国に市民の声を届けてほしい。

遠藤れい子の笑顔でファイト

「重い」としたが、原発は極めて専門的だから県民投票

花角知事は「県民投票を求める14万筆の署名は重い」と口にしたものの、「二者択一では多様な意見は把握できない」とも言う。しかし、多様な意見把握の具体策については一言も示せなかった。

自民党、公明党、真

口先の軽さに「あぜん」選挙で政治を変えよう

主権者県民の人権と見識を軽視する議員や政党では安全は保障できない。選挙で政治を変えよう。

笠井のりお市議は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して市民生活支援の充実を図ってほしい。



4/21 市民の声を届ける市議団と遠藤れい子

渡邊則道副市長は、共産党市議団にはいつも市民の声を届けていただき感謝している。①お米券については研究したい。②学校給食無償化署名2万3千筆は大変重い。保護者負担増にならないようにしていきたい。③賃上げの中小企業支援は予定したい。

【コメント】要求アンケートでは切実な要望が寄せられている。今後も生活支援に全力で対応したい。

にはなじまない。

何をかいわんや。国や東電は「日本の原発は5重の防御があるから事故はない。絶対大丈夫」と豪語していたが、地震と津波の自然災害で福島第一原発はメルトダウンし、放射能を大気にはばらまき、14年経った今も汚染で立ち入りできない地域を作った。